

# 平成 28 年度 事業実績報告書

社会福祉法人 窓 ふじの子保育園

## 1. 園児の確保

### (1) 入所児童の状況

	定員	組数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
0歳児	6	1	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	72
1歳児	9	1	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	108
2歳児	10	1	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	144
3歳児	10	1	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	132
4歳児	12	1	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	132
5歳児	13	1	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	144
計	60	6	61	61	61	61	61	61	61	61	61	61	61	61	732

### (2) PRの方法

ホームページを見て、園見学を希望し、要覧に基づき、園運営を説明していくと納得していただくことができた。また日頃より、子育て支援への参加者のリピーターが多く、口コミで誘い合っ  
て来ていただけた。

園見学の折、保育者や子どもたちが元気で明るく挨拶をしたり、話しかけたりして、気持ちよく  
理解していただけた。食事の献立を見て、和食の充実、特に離乳食の内容に感動されていた。

(3) 入園決定を例年より早く、保護者の方に知らせていただくことにより、安心して面接に来られ、  
面談がスムーズに行えた。

## 2. 教育・研究の推進

### (1) 保育目標

「子どもは宝」の基本理念は、保護者に理解されやすく、保育者も子どもにとって、最優先は  
何かを理解し、取り組んでいた。

### (2) 教育課題

年間指導計画を見直すことによって、更なる保育者の大切にしていかなければならないことが  
分かりつつある。保育計画だけを立てるのではなく、2園、各学年の話し合いの充実が必要である  
ことが理解できた。

### (3) 研究課題

2年目の「伝承遊び」の取り組みで、0～2歳児は“お手玉”と“輪”を素材として、また、  
3～5歳児は、“けん玉”で各年齢の発達の特徴を確認でき、遊びの環境の整え方次第で子どもの  
遊び心の芽生え、発展の仕方、展開の取り組みが分かり、ふじの子ワールドにまとめながら保育計  
画の充実、伝承遊びの楽しさを知ることができた。また、2園が一緒に取り組むことにより、コミ  
ュニケーションの大切さが分かり、より一層、保育の楽しさを保育者自身も理解することができた。

### 3. 職員構成

	28年度	備考
統括園長	1	
副園長	1	
主任保育士	1	
保育士	9（内1名産休に入る）	
保育士（非）	6+1（産休代替保育士）	1名産休、育休に入る
事務員（非）	2	
調理担当	3	業者委託

\*非：非常勤

### 4. 施設、設備の整備

- (1) 1階テラス遮光ネット柱を利用し、取り外しのできる登り綱、ブランコを設置することにより活動の巾が広がり、運動量が増えた。
- (2) 教育研究用機器として、競技用けん玉を園用で購入し、いつでも遊び込めるように園内研究で継続した保育計画の中で、園児一人ひとりが確実に自分のペースで成果を上げることができた。
- (3) 防災ズキンを初めて使用した時も園児全員がスムーズに身に付けることができた。このズキンは、座布団のようにも使える。

### 5. 収支計画

別紙参照

### 6. その他

- (1) 延長保育の人数は日ごとに多くなり、特に早朝より最後まで保育をしなければならない子どもへの情緒の安定に留意し、保育者は色々な語りかけや遊びの工夫をしている。
- (2) 親と子の支援活動は諸行事のみだけでなく、日頃の親子の関わり方の様子を見極め、六者会議の中で密に話し合い、保護者への対応は、親から話せられる雰囲気作りを持ち、十分親の話を聴き、少しでもリラックスして子どもとの関係がスムーズに行けるように時間をかけた。
- (3) 講師（絵画、英語、体育、リトミック、茶道）の招へいにより、保育の変化が楽しめたり、専門性を身に付けたりできることにより、保育の質、保育の充実につながると共に、2園間の子どもとの交流の巾と深さができたと思われる。
- (4) 2園間の交流の充実のため、各職員の役割、リーダー、グループの体制を持つことによって、きめ細やかな流れが作られてきている。
- (5) ふじの子保育園、第二保育園の特徴を構築していくことができた。
- (6) 産休、育休職員の援助を保育者同士、理解し合うことができる環境づくりができ、特にパート職員の確保がスムーズに行った。
- (7) 職員の働きやすい環境づくりの一環として、勤務時間の厳守、そのためのパート保育士の雇用の充実のお陰で子ども優先の保育と共に保育者同士のコミュニケーション力も高まって来た。